

にぎわい復活に110人が意見交換

一月三十日、にぎわい復活ワークショップが市役所で開催されました。公募に申し込んだ百十人が参加。中心市街地の活性化のため、意見や考えをそれぞれ述べた後、グループで話し合い、発表しました。ユニークなアイデアも飛び出し、六時間にわたる議論は熱気いっぱい。この成果は「まちづくりになぎわい再生計画（仮称）」の策定に生かされます。



ま ば し
え し
フラッシュ
シティ



木造住宅の良さをPR

「木の家」フェアが1月21日から23日まで、市民文化会館で行われました。木造住宅、リフォームに関するパネルや模型、設備用品などが展示。来場者は、木を生かした住まいに改めて関心を寄せていました。

郷土画家の絵画を一堂に

一月二十四日まで、市民文化会館で「收藏美術作品展」郷土作家が描いたぐんまの四季」が開催されました。郷土画家の風景画二十四点がずらり。二十三日には鑑賞のポイントを解説するギャラリートークも行われ、多くの人たちににぎわいました。



小中学生の書き初め展

二月四日から七日まで、総合教育プラザで市内小中学生の書き初め作品展が開かれました。「希望の春」「遠大な理想」など、力強い筆の運びで書かれた五百二十作品を展示。訪れた家族連れなどが熱心に見入っていました。



粕川児童館で1月27日、鬼の面作りが行われ児童20人が挑戦。節分の豆まきに使うため、先生やお母さんに教わりながら、色の付いた画用紙に目や角を付け、完成させました。



豆まき用に鬼のお面を